

◆令和2年度の学校評価◆

ア 自己評価結果等

<p>本年度の重点目標</p>	<p>【重点目標1】安全で安心な教育環境を整備するとともに、幼児児童生徒一人一人の実態に応じた教育課程及び学習環境を設定し、適切かつ合理的な配慮の下、専門性の高い指導及び支援を推進する。</p> <p>【重点目標2】幼小中高が連携し一貫・継続した指導を実践する。さらに、教育課程を介して地域及び関係諸機関との連携を密にし、交流及び共同学習をはじめキャリア教育などの推進を実現する。</p> <p>【重点目標3】部及び校務分掌の内容を、幼児児童生徒数または教職員の数に見合った業務量に削減して業務改善に向けた取組を実現する。</p>
<p>部、分掌</p>	<p>自己評価</p>
<p>幼稚部</p>	<p>【重点目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動で用いる道具を個々に用意することで、自分が使った道具として、自ら片付ける場面が増えてきた。 <p>【重点目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学期から年少児、年中児が協力して当番活動をするなど、自らの役割を理解し、積極的に取り組む姿勢がみられた。 <p>【重点目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚部と乳幼児教育相談で、共通の教材を使う場面を増やし、合理的に教材作成を進めることができた。
<p>小学部</p>	<p>【重点目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自らも感染症対策を意識できるように指導し、家庭への丁寧な説明を心掛け、安心して学校生活を送れるように努めた。学習面では、授業時間の確保が大きな課題となり、聾学校に必要な言葉の指導に割く時間が十分でない点もあった。今後は、児童たちが学校にいる時間のすべてを指導、支援の場として生かす努力を、教職員全員でより一層取り組んでいきたい。 ・部会前の5分間の学ぶ会を実施した。ニーズに応じていろいろな教職員に協力いただいて今後も無理なく継続していきたい。 ・授業研究実践の機会を大切にして、教職員一人一人が考えをもって授業づくりに取り組めるように積み重ねたい。 <p>【重点目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策下で可能な限り、交流及び共同学習の実施、ふれあい発見事業を実施した。直接体験によって学び、考えることは児童にとってよい学習となるため、より充実できるような工夫を重ねたい。 <p>【重点目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部内の業務ファイルを活用して業務を進めるようにしたが、今年度は感染症対策のため変則的な動きも生じ、対応に追われることが多くあった。業務ファイルは、毎年活用し、情報の追加、修正を重ねていくことでより分かりやすく使いやすいものにできるよう、継続していきたい。
<p>中学部</p>	<p>【重点目標1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程Bを二つに分け、その中でも集団での学習と個別の学習を取り入れたことで、より個に応じた学習ができた。「情報共有ツール」やケース会を通して、担任と授業担当者との連携を図り、共通した方法で支援を進めた。3年生については、高等部入学選考に向けて、動機付けや学習方法の指導を通して自主学習の意欲を高めることができた。 <p>【重点目標2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育について、高等部進路指導主事と連携を図り、高等部卒業後の姿について見通しをもって中学部時期にどのように過ごせばよいのか考える機会をもつことができた。また、中学部の職業体験学習の様子を小学部6年生へ知らせることで、小学部との連携を図ることができた。 <p>【重点目標3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育系サーバーを活用し、部会のペーパーレス化に取り組んだ。資料の印刷、配付などの手間を減らすことができた。

<p>高等部</p>	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止とタブレットを使った学習効果が上がるよう、机の天板拡張し、その上に飛散防止パーティションを設置した。併せて1年生の数学と英語において習熟度別学習形態をとったので、きめ細かく学習を進めることができ、学習効果を上げることができた。 <p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の一環として、地域の施設を訪問して作業学習の製品の販売やペットボトルキャップの受取などを行った。また、卒業後、利用する福祉施設について、入浴利用など一歩踏み込んだ体験をすることができた。その結果、新しい生活に向けた課題が見つかるとともに、その解決に向けた取組から心の安定につなげることができた。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体育館で行う式典で使用する文字による情報保障システムを刷新した。原稿を電子化してからプレゼンテーション型情報提示データの作成までが、短時間でできるようになった。従来数日かかっていた業務が数時間程度でできるようになり、業務量を減らすことができた。
<p>総務部</p>	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、1学期終業式、2学期始業式の時期をずらし、冬期の常時換気が必要となるなど、熱中症予防対策や防寒対策が必要であった。また、例年どおりの形式で式典が実施できなかったが、他の校務分掌との協力の下、冷暖房器具の活用や、感染予防対策を講じるなどをして、安全、安心して儀式に臨めるよう計画して実施することができた。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校要覧のレイアウトを、令和2年度からA3版の三つ折りから二つ折りにした。学校や各部の特色の伝わりやすいレイアウトにしつつ、経費や作業量を削減し、効率化を図ることができた。
<p>教務部</p>	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症予防のための臨時休業の際には、各部において、家庭で学習が進められるように幼児児童生徒の実態に合わせた学習動画等を作成した。さらに、高等部においては、入社試験や入試対策としてデジタル新聞を活用し、進路指導に合わせた課題を出したり、学習支援アプリを活用して課題を配信したりするなど、生徒の実態に合わせた学習支援をした。 <p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の幼稚部は、年少児・年中児の手本となる年長児の在籍が0名であったため、小学部1年生児童との共同学習の機会を設定し、年上への憧れや進級への意識を高められるような活動を設定した。小学部1年生児童にとっても幼稚部との活動は、生活科や道徳科の題材として効果的であった。就学への意識付けや小学校教育へのスムーズな接続のために、令和3年度以降も幼小が連携した活動を計画していきたい。 小学部6年生児童が総合的な学習の時間や生活単元学習で、中学部の作業学習に参加し、中学部生徒の職場体験学習の感想を聞く機会（今年度は報告会の動画視聴）を設けた。令和2年度はキャリア教育の視点で連携を進めたが、小学部5・6年生において教科として外国語が始まったことを受け、外国語教育における小中高の連携も検討していきたい。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作成文書の統合や様式の統一など、文書作成に要する時間（業務量）を減らす工夫をしてきたが、令和2年度は感染症予防に対応した変更等が必要となる学校行事や学習が多く、業務量の削減を実現することは難しかった。今後も、文書作成に関する業務量を減らす工夫をして、教職員の教材研究等の時間の確保に努めていきたい。

指導部	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度から防災訓練を行わない月にパトライトを活用したシェイクアウト訓練を行った。教職員が素早く負傷者や避難経路の安全を確認し、本部への報告ができるように繰り返し訓練をして、反省を基に改善ができた。 <p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊橋市中消防署に協力していただき、電話での緊急連絡ができない場合でも通報できる、「Net119」の使用法の講習と、水消火器による初期消火訓練を行った。消火器の取扱いを経験し、防災意識を高めることができた。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の身分証明書を作成するために、毎年全ての児童生徒分の情報を入力していた。表計算ソフトの機能を活用して作業をすることで、新入生、転入生の情報の入力で済むように改善した。入力時間、確認時間の削減をすることができた。
保健体育部	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する校内マニュアルの作成に当たっては、ガイドラインを基にして本校の実態を考慮した。特に、校内の消毒の方法については感染状況を踏まえた新しい生活様式に合わせて改定し、全校で取り組むことができた。 マスクや消毒用アルコールなどの感染症対策物品の管理をして、校内の使い方を計画し、必要に応じた設置や配付をした。 ガイドラインの改定や感染症対策に関する新しい情報をグループウェアの掲示板を使って全体に周知した。 <p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校医や学校薬剤師に新型コロナウイルス感染症対応の注意点や消毒の方法について相談し、御意見をいただきながら健康診断、保健指導等を計画し実施することができた。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は、新しく担当する職員が多く、また、新型コロナウイルス感染症対策への対応により業務改善への取組については課題が残ったが、保健体育部の手引きを業務改善の視点を入れて見直しをしたことで来年度へ引き継いでいきたい。
進路指導部	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により、高等部1、2年生のインターンシップを縮小した。福祉事業所での産業現場等における実習は、日程変更をしながらも実施できたが、企業での実習は実施できない場合が多かった。 <p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大により、保護者向け進路勉強会、進路について考える会などが中止になったが、個別に保護者と面談して補うことができた。 必要な生徒については学校でケース会議を行い、関係機関相互の連携を深めることができた。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の分掌と兼務する教職員もいたが、授業のない時間を利用して会議をしたり、資料を回覧したりすることで、円滑に業務を進めることができた。
研修・自立活動部	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏季校内研修としての自立活動研修が実施できなかったが、各部で必要な研修を行った（幼：文献やレポートの紹介、小：部会前の5分間研修、中：ケース会、高：手話研修）。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで各部で作成してきた文書のうち、補聴器相談割当て表など統一できるものは全校の一覧表にして共有できるようにした。 令和3年度に向けて、スムーズな引き継ぎができるように各係の業務ファイルを作成した。年間の業務内容や手順が見通せるように一覧表を作成した。

<p>情報部</p>	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク工事により、ほぼ全棟（体育館や寄宿舎を除く）でインターネットを活用した学習がしやすくなった。 ・ICT研修会でテレビ会議システムやYouTubeなどを紹介し、オンラインの活用ができるように働きかけた。 ・その都度、セキュリティ面での留意事項をグループウェアなどで周知徹底した。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WordPressを使ったホームページの更新手順をまとめて、更新までの流れがスムーズになった。また見やすくなるように、載せる情報を精選した。 ・参考資料に図や写真などを載せて図解化し、ポイントが分かりやすく伝わるように工夫した。 ・新たに配備されたICT機器の設定作業などで、業務量の削減に向けた取組が十分にできなかった反省がある。次年度は、児童生徒用タブレットパソコンをはじめとした更新機器をスムーズに利用できるような改善に務めたい。
<p>教育支援部</p>	<p>【重点目標 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級による指導では、多くの対象校で、コーディネーター、担任、保護者と連携を密にして児童生徒への必要な支援をすることができた。一方で、対象校のコーディネーターが多忙なため、直接話し合う機会をもてない場合もあるので、記録簿を回覧することで連携をとるように努めた。 ・難聴学級担当職員研修会を2回開催した。会の規模を縮小して行ったが、研修会後のアンケートからは、一定の評価がうかがえたので、今後もよりニーズに合った研修会を開催できるようにしたい。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援部が保有する教材を一覧表にまとめ、誰が見ても分かりやすく、使いやすくなるように整理した。 ・教育支援部の教職員全員で集まる機会をつくるのが難しかったが、資料を予め回覧してから会議を行ったり、業務ファイルを活用して分担を明確にしたりして、効率よく業務を遂行ようにした。
<p>寮務部</p>	<p>【重点目標 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎内でのマスクの着用や手洗い、手指消毒や使用箇所の清拭を徹底し、集団生活の中で感染症対策に注意した生活をするのができた。今後も感染状況等を踏まえ、舎生が集団生活を楽しく安心して過ごせるように対策を立てていきたい。 ・体調不良者が出ときには、部屋を分けるなどの対策をして、舎生の安全を確保した。 <p>【重点目標 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンやプリンターなど、新しくICT環境を整えたことでパソコンでの業務を複数の指導員で同時に進められるようになり、円滑に業務ができるようになった。

イ 学校関係者評価結果等

<p>学校関係者評価を実施した主な項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 幼児児童生徒一人一人の実態に応じた教育課程及び学習環境を設定し、適切かつ合理的な配慮の下、専門性の高い指導及び支援を推進する。 2 幼小中高が連携して一貫した継続的な指導を実践する。さらに、教育課程を介して地域及び関係諸機関との連携を密にして、交流及び共同学習をはじめキャリア教育などの推進を実現する。
<p>自己評価結果について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育について、各部で取り組んでいるが、幼小中高一貫し、説明できるものが出せるようになるとよい。 ・年に2回（6月と11月）学校生活アンケートを実施している。いじめの早期発見や子どもたちの具体的な悩みを知ることに役立っている。
<p>今後の改善方策について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害児教育の専門性を高め、新しい学習指導要領を踏まえた授業力の向上に向けて、校内研究や現職研修に継続的に取り組んでいく。 ・学校評議員の方々や地域の方々からの助言を大切に、よりよい学校づくりを目指す。

<p>その他（学校関係者評価委員から出された 主な意見、要望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も熱心に授業をしていたので、素晴らしいと思った。 ・幅広い年齢に合わせた感染症対策がされていた。 ・教師と生徒、生徒同士の関わりを大事してほしい。 ・豊学校が大切にしていた、手話と会話を両立していくことをなくさないでほしい。
<p>学校関係者評価委員会の構成及び評価時期</p>	<p>大学准教授、地区市民館館長、地区文化協会会長、同窓会会長 P T A会長 評価時期 2月下旬</p>